





# 長野清泉女学院中学校 2 学年

## 題材名 『動くピクトグラム ～ようこそ私の街へ～』 【A表現(1)イ(イ)】

授業者 土屋真巳(豊野中), 信太一郎(清泉中)

内容：初めて町を訪れた人により楽しく快適に過ごしてもらうような「動くピクトグラム」を考え始めた生徒が、アイデアスケッチを振り返り、伝えるためにはどう工夫したらよいかグループで比較鑑賞することを通して、訪れる人たちの気持ちと、適切な情報量、効果的な動きを考えながら、より伝わる動くピクトグラムの構想を練る。

### 1, 授業の実際

授業者の指導・支援	子どもの動き・反応等
<p>◇前時で使った学習カードには個々の生徒に向け指導者からの一言アドバイスがされている。 Kさんに向けてのアドバイス 『①カレーにかける→②おいしい!』 『前向き（顔の向き）でもいいかもね』</p> <p>◇4つの作品を比較鑑賞してグループで話し合い、課題を持つ。 「4パターン作りました。動かしてみます。」 「どれが一番伝わりますか？伝わる物に○をして、それぞれの所に感じたことを書いてみてください。」</p> <p>◇伝えたいことを伝えるために気を付ける点を、生徒の気付きをもとに板書し、アイデアスケッチの見直し、練り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見る人の気持ちを考える</li> <li>・情報量は適切か</li> <li>・動きは効果的か</li> </ul>	<p>○前時の学習の際、「カレーに七味おいしいよ」というピクトグラムを考えたKさんの2コマにはカレーライスと七味なのか分からないボトルが出てくる。</p> <p>①テーブルにカレーライスと七味ボトルが置いてある ②カレーライスに七味をかける。</p>  <p>○Kさん、グループの人と3人で①～④の図について話し出す。 「④は香炉に見えないね。人も立っているだけだもんね」 「③城下町って感じだけど、何しているのかわかんないね。遠すぎだね」 「①は息を吹いているよね」</p>  <p>○Kさん、資料の七味が載っているページを見始める。 ・前時に描いた2コマ目に付箋を重ねてなぞり1コマ増やした。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・人型の腕の形を何度か書き直しながら形にしていく。</li> <li>・キラキラのマークを周りに入れる。</li> <li>・七味のボトルに「七味」と書いた。</li> <li>・コマドリを始める。</li> <li>・3枚のコマを2枚に減らした。(始めの手に七味のボトルを持つ前のコマを外した)</li> </ul>  <p>○Kさんになぜコマを減らしたのか聞いたところ、 「3枚だと情報量が多いと思い1枚減らしました」と教えてくれました。</p> 